

グローバルSCM シミュレーションサービス

サプライチェーンの課題解決を目的に、
製造業のデジタルトランスフォーメーションを支援

需要の変化に
即応できず、
受注機会を
損失している

サプライチェーンの
課題を洗い出し
解決することで
製造業DXを推進したい



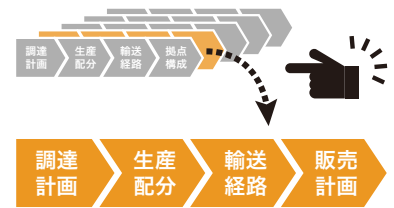
熟練者の暗黙知に
依存した生産配分や
販売計画プロセスを
見直したい

外部環境の変化に強い
サプライチェーンを
構築したい

課題を洗い出し、サプライチェーン全体を見直します

サプライチェーンおよび需要（販売計画）・販売価格・コスト情報・ライン能力を定義することで
売上・利益・設備稼働率をシミュレーションします。理論上全ての販売・生産施策のシミュレーションを実行し、
最も利益が高い販売・生産計画・輸送ルートを見つけます。

サプライチェーンモデル + 需要・能力・コスト = 利益最大となる
販売・生産施策

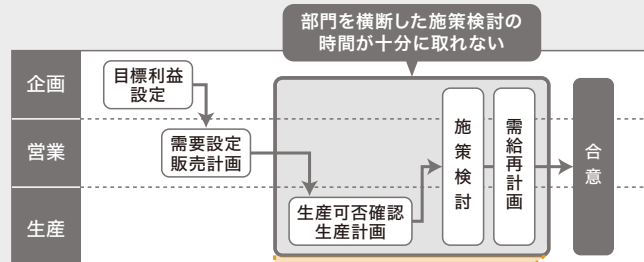


Use Case 01 | 需給計画時のPDCAサイクル高速化・価値向上

製造・販売施策立案にかかる工数を削減し、削減した工数で多くのパターン検証、アクションへ。

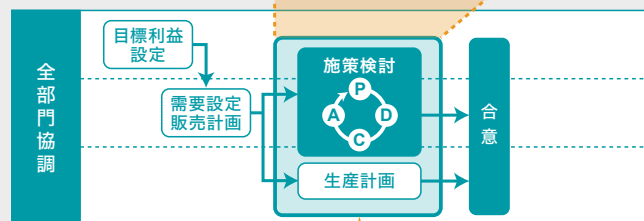
導入前

- 施策検討のための情報が不足
- 声大きい方や早いもの勝ち
- 部門間の調整で時間がなくなる



導入後

- 即座に生産可否がわかり、施策ごとの効果算出が可能に！

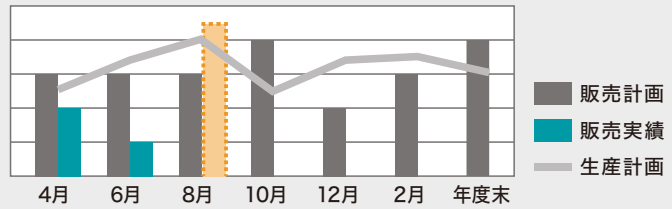


Use Case 02 | 市場変化に対応したキャッシュフロー改善施策

需要変動が予測できない場合に、生産量と需要量見通しの組合せをシナリオとして定義し、各シナリオごとの利益とキャッシュフロー、期末在庫量を予め把握。市場の変化に対応し、事前準備したシナリオに基づいて迅速に販売計画、生産計画の見直しを実行します。

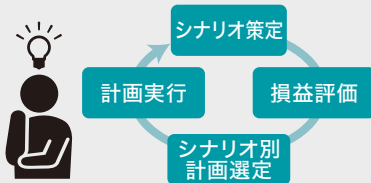
導入前

- 需要変化が予測できない…在庫が増えているが生産計画を見直すべきか？



導入後

- あらかじめ、さまざまな販売・生産のパターンをシミュレーションすることで、需要が変化しても迅速に対応ができる
- 在庫増加によるキャッシュフローへの影響や損益分岐点も確認



No.	販売見通し	生産計画	売上	利益	利益率	期末在庫量
0	当初計画 100%	当初計画 100%	900	170	19%	3,000
1	120%	100%	1,080	204	19%	1,700
2	100%	80%	900	119	13%	1,700
3	80%	100%	720	136	19%	4,300
4	80%	80%	720	95	13%	3,000

利益影響に加え、生産量を当初計画より減らした場合の利益率影響(固定費配賦額の増加)、販売見通しが落ち込んだ場合の期末在庫量の影響を確認します。

Use Case 03 | 変化に強いサプライチェーンの構築

新規拠点の場所・規模、また、拠点間の物流ネットワークの見直しを行うことができます。複数のシナリオに対してコストや損益、稼働率の評価を行い、最適なシナリオを選択することが可能です。

プロジェクトの目的

グローバル市場拡大のため、最適なサプライチェーンを構築



プロジェクトの検討事項



シミュレーションの効果

各シナリオを定量的に評価し、膨大な組合せの中からコスト最小となるサプライチェーンを提示



※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

